令和元年度第1回長井市子ども・子育て会議 議事録

- ・日 時：令和元年7月29日 14:00～16:00
- ・場 所：長井市保健センター 研修室Ⅱ
- ・出席者：平委員、高石委員、高世委員、川上委員、菊地委員、佐々木委員、阿部委員、鈴木委員、今野委員、梅津委員、神田委員
- ・事務局：厚生参事、総合政策課総合戦略室長、地域づくり推進課、市民課長、健康課健康推進主幹、福祉あんしん課長、文化生涯学習課長、子育て推進課長、子育て支援主幹、子育て支援主査、子育て支援係長

【委嘱書交付】

会議に先立ち、新任委員に長井市遠藤副市長が委嘱状を交付

・司会 子育て支援主査

1. 開会あいさつ 子育て推進課長
2. 副市長あいさつ 長井市遠藤副市長
3. 会長あいさつ 長井市子ども・子育て会議 石山会長
4. 委員紹介、職員紹介 出席委員、職員が自己紹介（この後、長井市遠藤副市長は退席）
5. 長井市子ども子育て支援事業計画について（資料1）
 - ・子育て推進課長が、資料1に基づき説明。
6. 協 議
 - 1) 第2期長井市子ども子育て支援事業計画に係るニーズ調査結果（資料2）
 - ・子育て推進係長が、資料2に基づき説明。
 - ・以後、石山会長の進行により質疑、協議。要旨は以下のとおり。

委員の質問、意見等	事務局の回答、対応等
<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての悩みについては、父親よりも母親同士の情報共有があるのではないか。スマホ、ラインなどで。 ・遠くから転勤してきて、友だちや知り合いもない、といった人たちには切実な問題である。 	—
<ul style="list-style-type: none"> ・夫婦共働きであり、子供が病気の時はどちらかが休み対応している。祖父母も働いており頼みにくい。一時預かり、病児保育ができる施設があると助かる。 ・急な依頼でも、土日でも引き受けてくれる一時保育場所が欲しいという意見がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日は毎回、希望をとって預かりを行っている。日曜日については、行っていない。（幼稚園代表委員） ・行政としては、現状日曜日についてはハード面、ソフト面でハードルが高いが、そのようなご意見もあり、検討項目としていきたい。

<ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートの一時預かりは、見てくれる人を探して、面談して、場所を決めて、等事前の準備がある。簡単に、今日お願い、というわけにはいかない。見てくれる人の都合がつけば、土曜日も利用は可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年5月の10連休の際に、みられない子どものために、児童センターを開所することとした。3組が登録し、利用は1組だけだった。 土日に預けたいというのは、理解できるが、都合がつくのであれば、家で遊んでいたほうが安全だ、という考え方もある。 祖父母に見てもらおうということには、抵抗があるようだ。
<ul style="list-style-type: none"> 「少しの時間でも、簡単に預けたい」の意味は。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前の申し込みでなくなるべく楽に利用したい、ということ。 母親一人で大変で、専業主婦の場合は、幼稚園は2歳から入所であり、夕方の忙しい時など、ちょっと見てもらいたいという「逃げ場」的な考え方もあるかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 児童センターでは隔週で土曜日の半日の預かりがある。半日だけなので、逆に利用者は少ない。保育園も含め、1日の利用とすることで、利用者は増えるのではないか。 無償化については良いことだが、これによって児童センターの利用者が減ることで運営面の心配をしている。 	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> 長井市を一時離れ、また戻った。親元とは別のところに住み、周りがわからない。学童などに預けても、周りの子や親がわからない。 昨年小学生になり、地区の育成会に加入した。地区の人々は、個人情報保護もあり、新入学ということもわからず、声もかけられなかったとのこと。事前にわかれば地区とのつながりもうまくいくのでは。 	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> 遊ぶところが限られている。思いっきり遊ばせるところ、ぜひ造っていただきたい。他の自治体でもあるが、雨が降っても遊べるようなところ。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1期ニーズ調査でもそのご意見は多かった。今回調査も同様だ。 市では平成28年度に屋内遊戯施設建設の基本構想を策定した。令和5年度から図書館と併設して屋内遊戯施設建設を計画している。
<ul style="list-style-type: none"> 私の意見としては、子どもには外で遊んでほしい。屋内でなくて。 外で遊べない理由としては、治安の問題がある。 冬だって雪遊びをしてほしい。長井市に住んで長井市に見合った自然に親しむ遊びをしてほしい。 環境面（治安）に配慮して、太陽の光を浴びて育ててもらいたい。 	<p>—</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を見てみると、親も一緒に遊ぶ場、子どもと親と一緒に楽しめる環境を求めていると思う。 ・「行政のサポートが明確にわかるようにしてほしい」との声がある。支援策の認知度が低い。認知度を高める取組の強化が必要。 ・「共遊」ということ。 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・「月火のご飯持参、水～金の弁当持参が大変。全部持っていかななくてもよいように」との声がある。改善できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新調理場の建設が進められている。そこでは、炊飯も直営で行う予定となっている。箸、スプーン、トレイも市で準備する。安全な形で給食が進められるよう、市で進めている。
<ul style="list-style-type: none"> ・「学校行事、公民館行事、子ども開業時など、行事が多い」ことについて。 これについては、子ども同士協力したりする場であり、理解していただきたいと思う。 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育を希望する人が多い。長時間保育となるが、母親等と一緒にいる時間は大切。そういう子どものほうが安定しているように思う。 さらに保育時間の延長をという意見もあるが、子どものことを考えるとどうなのかと思う。家庭で十分に親と接してエネルギーをためて、幼稚園等で過ごす。 事情はわかるが、考えていただきたい。 ・祖父母について。祖父母もみたい気持ちはあり、もっていない。意思疎通の面で難しさはあると思うが、たまに交流の機会をとってみてはどうか。 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援という言葉であるが、誰のための支援か。子どもたちだけでなく、お家の方の気持ちを安定させる、そのための支援という面もある。 お家の方が安定するため、長い時間子どもをみたり、お家ではできない、泥遊び、水遊び、雪遊びなどで十分に遊ばせて帰ることにより、お家の方も安定する。 ・親の支援、子どもの支援、両面があり、どちらも重要であり、バランス良く進めていく必要がある。 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ、ゲームについての聞き取り項目は無かったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・項目としてはなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化というが、必ずしも悪いことばかりではない。特別支援の面とか、アレルギー対策など、細やかにやっている。一人一人の子どもが大切にされている。 ・子供会については、今は子どもが少なく、地区でやってくれと言われるようになった。地区とのつながりの面ではいいことである。 ・以前は、村祭りやスキー場など、男女の出会いの場があったが、今はない。若い世代の交流の場についても取り組んでもらいたい。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・外遊びについて。今は治安の面もあり、親から色々なものが与えられ、外遊びがやられていない状況だ。ただし、行政のほうでも、土曜ランドややんちゃ広場など色々な事業が取り組まれている。情報が行き渡るよう努力してほしい。 ・経済的支援を多くの人が望んでいる。子どもの貧困が問題になり、子ども食堂などもやられている。経済的支援の具体例は。 子どもには自由にのびのびと育てほしい。 具体的な対策も計画に盛り込んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おむつやミルクの支給、医療費の無償化を中学校から高校まで延長してほしい、といった声がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・悩み相談。「引っ越したばかりで知り合いもなく、行く場所もない」との声。まご一れでは、月に一度、助産師、保健師が、保育士のスタッフが6人いて各種相談に対応している。また、母親同士の情報交換や祖母等との世代間交流もある。 ・こういったことや子育て支援の各種情報の情報発信を強化していく必要がある。色々な場で、色々な情報を。 	<p style="text-align: center;">—</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てのための経済的な支援、子どものためにではなく、親たちのために使っている例も見受けられる。もらえるのが当たり前、ではだめだと思う。 	<p style="text-align: center;">—</p>

2) 子どもを取り巻く現状

- ・子育て推進主幹が、資料3に基づき説明。

3) 第1期計画の経過

- ・子育て推進係長が、資料に基づき説明。

4) 第2期計画の構成及びスケジュール

- ・子育て推進主幹が、資料3、4、5、6に基づき説明。

7. その他

8. 閉会

—以上—